

2023年10月25日

ロシアに関するステートメント 調査の結果、ロシアによるウクライナ侵攻開始以後、 DMG MORIはロシアに機械を供給していないことを確認

2023年9月29日にご報告した通り、DMG MORIは、2022年2月24日以降のロシアに関するビジネスに関し、現地での確認も含め調査をしました。

調査の結果、2022年2月24日以降、ロシアへ販売された、または持ち込まれた機械は1台もないことが確認されました。同日以降、ロシア国外(日本、ドイツ、それ以外の国を含む)から、ロシア領土内に持ち込まれたDMG MORI製の機械はありません。

ロシア国外で製造され、2022年2月24日より前にロシアに持ち込まれた在庫機18台すべては、ロシア国内にあるDMG MORIの拠点で安全に保管されており、第三者によるアクセスは不可能です。DMG MORIは、ロシアでの営業、サービス、製造事業を中止するため努力してまいりました。主にドイツ製と日本製の機械受注はキャンセルし、ロシアでは通常全額支払われる前払金を返金いたしました。このため、18台の機械がDMG MORIのロシアの拠点にまだ残されております。また、ロシアの法律に基づき、ロシアでの契約を完結させるために、受注残については納入しなければなりません。納入しなければ、契約違反となり、また、ロシア政府から刑事訴追を受ける可能性があったためです。調達面では、自動工具交換装置や板金などのサプライヤー(インドなど)に発注停止および交渉を行いました。2022年2月22日以前に発注した一部品目については納品されました。しかし、調査の結果、複数のDMG MORIロシア法人の従業員が、自己判断で、ロシア製の機械複数台をロシア国内の顧客に販売したことが判明しました。また、ロシアで製造された機械122台の殆どを購入し、ロシアの顧客に再販した会社3社を特定しました。DMG MORIの分析の結果によると、納入したエンドユーザーはすべて民生用途です。これらすべての機械について、DMG MORIロシア法人は、サービスや据付試運転を実施していません。DMG MORIロシア法人は、ロシアで約190人の従業員を解雇しました。解雇後に彼らの行動を制御することは不可能です。なお、現在も残る9名の従業員は、建物の管理と安全確保にあたっています。

DMG MORIによる一切の指示を受けることも、報告することもなく、ロシア国内で販売が行われたことを強く非難します。法令に違反した事実はないとはいえ、ロシア国内での販売はDMG MORIの厳格な方針に違反しております。DMG MORIは即座に適切な措置を取り、また、ロシアにおける営業活動を一切許可または支援しません。

ウクライナの方々に心からお見舞いを申し上げます。また、この戦争が一刻も早く終結することを願っております。

以上